



2025年6月5日

ブルーカーゴ株式会社

## 第91回 2025年5月度安全衛生委員会

開催日 2025年6月5日(木) 11:00~12:00

開催場所 NTN 三重製作所第三会議室

- 1) 全員唱和 (西村寿洋)
- 2) 議事進行 (安全管理者)
- 3) 5月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告・審議事項
  - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (衛生管理者)
  - ②安全パトロール報告 (衛生管理者)
  - ③各部署別月間安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
  - ④ヒヤリ・ハット体験状況報告 (各推進員)
  - ⑤労働災害統計報告 (衛生管理者)
  - ⑥その他報告事項
    - ・フォークリフト運転安全講習実施結果 (安全、衛生管理者)
    - ・第98回全国安全週間行事実施計画 (衛生管理者)
    - ・従業員總會連絡 (事務局)
    - ・熱中症対策 (衛生管理者)
  - ⑦審議事項
  - ⑧要望、意見、連絡等
- 5) 次回 第92回 2025年6月度安全衛生委員会開催日予定  
7月5日(土) 従業員總會終了後 15:00~16:00
- 6) 閉会のことば (総括安全衛生管理者)

# 安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

# 安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

“ご安全に”

(人身、物損) 作業事故報告書

報告者 ブルーカーゴ(株)

水谷社長 殿

提出日: 2025年 5月 21日

新妻 利昭



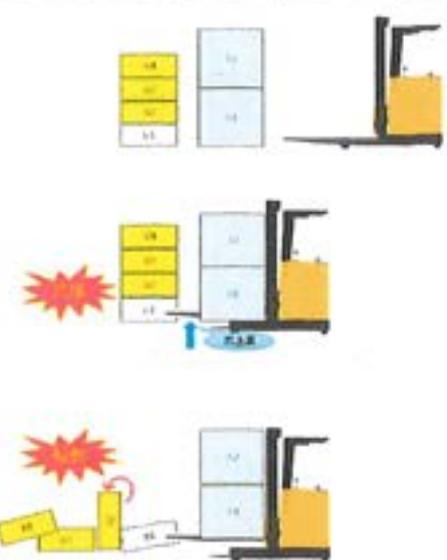
分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能					
事故発生	内容	事故内容を簡単に 出荷準備作業中に製品転倒	発生日時	2024 年 5 月 19 日 ( 月 ) 12 時 20 分		
	当事者	佐藤 忠司	部署	輸送		
	場所	発生場所 東伸熱工(株) 三重工場	車番	当社所有 カウンターリフト	天候	曇り
	対象	製品又は対象物 1-27 #EDJ125	内訳	入数×箱数 461個 X 2杯 計922個	總會	直近の従業員総会に 参加した <input type="radio"/> 不参加 <input checked="" type="radio"/>
事故発生	① 製品置き場で出荷準備の為、カウンターリフトにて製品の仕分け作業を行っていた。					
	② K1-3段*1列(C)、K1-2段*2列(A,B)をカウンターリフト長爪にて扱う。					
	③ A,B,Cの奥に、壁側からK1-2段*2列(X, Y)が置かれていた。					
	④ リフトを後退し、XとAの間には十分に間隔があり、爪を抜いてもXには干渉しないと思いチルトを上昇した。					
	⑤ Xが爪上昇と共に、Yに片寄りながら「くの字になって」もたれ倒れた。					
原因	・いつもの作業で大丈夫だろうと思い込んでいた。 ・爪が抜け切れているか、目視確認が不十分であった。		事故対応	東伸熱工様:本人→伊藤係長様 当社:本人→水谷社長、永田主任、新妻部長		
損害	事故品	[修理・選別・廃棄]	社内での類似事故は?	処	東伸熱工様より後工程への進行指示をいただきましたので、これに従い輸送準備を進めました。	
	損害金額	— 円	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 初めて	事故品		
再発防止	人的	(人が対応する内容) ・爪が完全に抜けているか、目視にて確認する。 ・事故報告書をもとに内容を周知し再発防止に努める。				
	設備	(設備で対応)				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く 安全な状態になるまで、きちんと目視確認して作業して下さい。				日付	5月28日

(写)送付先

総括安全衛生管理者	運行管理者	安全管理者	衛生管理者	事務局	安全衛生推進員

注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白  
注)②事故発生後2日以内に提出

(人身、物損)作業事故報告書

水谷社長 殿		提出日: 2025年 5月 23日		報告者 ブルーカーゴ購		
				新妻利昭 (印)		
分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能					
事故発生	内容	事故内容を簡単に テーパークラック転倒		発生日時	2024 年 5 月 21 日 (水) 15 時 00 分	
	場所	発生場所 増床ラック前置場	車番	NTN三重様所有リーチリフト	天候	晴れ
	対象	製品又は対象物 4T-M73440H	内訳	入数×箱数 4,495本…再検査要	総会	直近の従業員総会に 参加した <input type="radio"/> 不参加 <input checked="" type="radio"/>
	事故に至った状況	<p>① 増床入口付近の荷物を整理するため、A・W1-2段(空ポリ)を移動させようとしていた。</p> <p>② 奥側にBパレット4段(ポリ入りテーパークラック完成品7,471本)が置いてあることを認識していた。</p> <p>③ Aに爪をさし込み、10cmほど上昇させ、チルトした。</p> <p>④ 爪先がAから突き出ているが、奥側パレットBとの間には間隔があり、爪先がBと接触しているとは思っていなかった。(実際に目視確認していない)</p> <p>⑤ 爪を上昇させた後に大きな音を聞き、Bが転倒落下していることを目撃した。</p>				
原因	<p>・間隔があったので大丈夫だろうと思い込んでいた。</p> <p>・爪が接触していないか、目視確認をしなかった。</p>		事後対応	NTN三重様:新妻部長→伊藤工場長様 品質保証課:後藤さん 生産管理:上原さん 当社:本人→福田課長→新妻部長		
損害	事故品 [修理] <input checked="" type="radio"/> [選別] <input checked="" type="radio"/> [廃棄] <input type="radio"/> 損害金額 円 対応時間 時間	社内での類似事故は?	有り <input checked="" type="radio"/> 初めて <input type="radio"/>	事故品	NTN三重様の選別にて、良否のご判定をいただきます。	
再発防止	人的	(人が対応する内容) ・爪が完全に抜けているか、リフトを降りて目視にて確認する。 ・リフト安全講習(外部:ロジスネクスト)を実施し安全意識の向上を行う。 5/21実施済み ・事故報告書をもとに内容を周知し再発防止に努める。				
	設備	(設備で対応)				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く 荷物の密集している時は、リフトから降りて爪先の出入量や状況を目視で確認する。				日付	5月26日
(写)送付先	総括安全衛生管理者	運行管理者	安全管理者	衛生管理者	事務局	安全衛生推進員
	(印)	—	(新妻)	(西村)	(西村)	(福田)

注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白  
注)②事故発生後2日以内に提出

総括安全 衛生管理者	管理部長	安全管理者	部門長	課長	作成者
					

## HHT 発生連絡

(いつ) 発生日時	2025年4月25日(金) AM11:45頃
(何処で) 発生場所	軸受工場 第1会議室
誰が) 被災者	作業員
何をしていて) 業務内容	机の片づけをしている時
(どうなった) 被災状況	左膝上打撲
(災害状況) 発生経緯	<p>①生産説明会の開催日のため、各会議室より机を移動していた。</p> <p>②説明会終了後、各会議室へ机を片づける作業を行った。</p> <p>③必要数の机移動が完了していたが、被災者が引き続き机を移動させようとしていたため、別作業員が完了していることを伝え、天板に手を置き作業を止めようとした。</p> <p>④同時に、被災者は折りたたみレバーを解除し、折りたたみ作業を進行していたため、天板が折りたたみ、左膝上に天板があたり被災した。</p>
	 <p>折りたたみレバー</p>
	<p>&lt;対策&gt; 机の折りたたみ作業を行う際は、天板が倒れる側に人がいないことを確認し、折りたたみレバー側より作業を行う。</p>

(安全・環境管理課からの指示事項)

指示事項	日常に危険は潜んでいます。机を片付けるだけだから大丈夫だろうと考えるのではなく、〇〇かもしれないと危険予知を行うこと！ 自分の身は自分で守る行動を取ってください。
------	--

【情報指示経路】課長 ⇒ 係長 ⇒ 班長 ⇒ 課員

(請負職場)

三重製作所

ケージーエス

# 労働災害報告書

( 休災 )

社長	取締役	部長	課長	安全管理者	所長
			安江		

## A 災害状況の把握

1) 速報(L-11号) ( '25年4月25日 )

2) 報告(L-11-12号) ( ' 年 月 日 )

作成者 安江 健 印 安江

常駐 課 職階

### ① 災害発生日時・場所・作業等の概要

A(年月日) 年 月 日 '25 4 24	B(曜日) 木	C(曜番日) 平日	D(時間:24+表示) 時 分 19 : 53	E(時間帯) 定時外	F(天候) 晴れ
G(課・職場) ケージーエス		H(場所) 社内・場外	I(作業区分) 業務・定常		
J(原因物) 緑石	K(加害物) 路面	L(被災時の作業) M( 単独 ) 作業		N(現在所・TEL) TEL( )	
O(事故の型) 転倒		P(現認者) 千賀広行 鈴木和幸		Q(雇用区分) 契約社員	

### ② 被災者の特性

B 氏名	C(性別) 男	D(年齢) 75才	E(勤続) 2年	F(経歴) 2年
G(生年月日) (西暦) 年 月 日 '22年 7月 16日	H(入社年月日) (西暦) '22年 7月 16日	I(役職) 従業員	J(勤務) 交替	K(入社) 途中
O(安全衛生に係る資格・教育・研修) なし		P(職場経歴)	Q(雇用区分) 契約社員	
R(転倒機関・主治医・付き添い者名および所見)		S(退職履歴)		

### ③ 傷病の内容・程度・処置

A(部位) 左前頭部 / 左肩	D(処置方法) 外部医療機関
B(性質) 裂傷 / 擦傷	E(診断書) あり
C(程度) (障害 軽見込)	F(休業期間) 4月24日 ~ 6月24日
G(離日日数)	H(診断書) 90日

⑤ (速報発出時、安全衛生主務課長指示)

### ④ 災害の発生状況

- ① 出来るだけ簡潔に記入する。  
② SWI/Hで出来るだけ簡潔に具体的事実を記入する。  
③ 事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。
- 被災者は19:50頃に出動し、ローラー工場の従業員駐車場に車を駐車した。
  - 車から降り、右足を後方にある緑石(※1)に乗せ、左足は駐車場にある状態で後部座席から荷物を取り出した。【写真①】
  - ドアを閉める際、バランスを崩し左側へ転倒。【写真②】
  - 転倒の際、左前頭部を緑石上部に打ち付け出血。同時に左肩を路面に強く打ち付けた。
- ※1 緑石の高さ: 15cm  
緑石から車までの距離: 45cm(緑石からタイヤまでの幅/立っていた位置)
- ※2 被災者は事故の後遺症で日頃から歩行に多少の支障があった。

### ⑥ 現場見取図および組織図



課長  
本人

管理・監督者(課長) 安江 健 氏 名

<b>② 災害防止</b>	(日時) 2025年 4月28日 15:00 ~ 16:30	(出発者) 清水社長、中村専務、後藤部長、安江課長、中村課長
	(場所) 株式会社ケージーエス 2階会議室	位田主任(衛生管理者)

① 問題の分析					
No.	分析項目	判定・評価	No.	分析項目	判定・評価
1	災害要因の区分	P(不安全行動)・M(不安全状態)	5	作業標準書	なし ( )
2	問題点の広がり	人 人・物 合・場 所	6	ヒヤリ/ハット体験 収集・登録	無し ( )
3	問題発生の経過	N(今回初めて)	7	過去の同様・類似 災害とその措置状況	なし (いつ頃 )
4	法規等に照らして問題	なし			

**② 災害原因** “災害の発生状況”にもとづき災害原因を 原因追求の方法・要因分析を行なう。  
人・物・作業および管理の面から記入すること。生産技術課、作業主任、産業医等専門家の意見も求める。

区分	No.	内容	区分	No.	内容
人	①	危険予知が出来ていなかった	作業	①	
	②	両足を地面に付けておらず不安定な状態であった		②	
	③			③	
	④			④	
物	①	駐車位置がスペースの端にあり、縁石が付近にある場所であった	管理 他	①	駐車場所及び、その付近において考えられる危険予知が確かであった
	②			②	
	③			③	
	④			④	

**③ 同種・類似災害防止対策**

①当該課長は、実施の方法を具体的に検討のうえ、速やかに措置すること。  
②実施経過は、様式1-1・2・3号および添付資料にまとめて、安全主務課に報告すること。  
③安全主務課は、対策状況を確認のうえ、事業場長もしくは工場長に報告すること。

災害原因 区分	No.	改善対策項目 (なにを)	時期 (いつまでに)	誰が (誰に)	実施の方法・内容 (どこで、どのように)	リスクレベル		フォロー・確認		
						対策前	対策後	完了日	管理監督者印	安全管理者印
人	①	災害事例の説明及び安全指導	月 日 5 31	課長 (全員)	ローラー工場への派遣警備員全員(11名)に転倒時の映像にて災害状況の説明を行い、身体機能の衰えに見られる危険要因と注意点を指導			月 日		
人	②	警備員の入れ替え	月 日 5 15	課長	運動能力/判断力/反射神経の機能低下により警備員として対応が困難と判断した者の入れ替え			月 日		
			月 日					月 日		
			月 日					月 日		
			月 日					月 日		
			月 日					月 日		
			月 日					月 日		

<p>( ) 今回警備員による労働災害が発生させたこと、誠に申し訳ありませんでした。高齢者を従事させる管理者として安全意識に欠け、不安全箇所を見逃してしまった事を課長反省しております。業務内容や方法などに潜んでいる危険ポイントを再度洗い出し安全意識の高揚を図り再発防止に努めてまいります。</p> <p>印 <span style="color: red;">安江</span></p> <p>工場長 部門長</p>	<p><b>改善対策完了の最終承認</b></p> <p>総括安全衛生管理者印      本社安全主務課長印</p> <p style="font-size: 2em;">④</p>
<p>総括安全衛生管理者コメント</p>	

## 三重製作所として 5/30 日（金）を 1 日禁煙推奨 DAY とします。

知っていますか？

5/31（土）は世界禁煙 DAY です。

これを受けて、三重製作所でも

1 日禁煙推奨 DAY を設定します。

まずは 1 日！禁煙してみませんか？



5月31日

世界禁煙 DAY



君なら  
禁煙する

### 【1 日禁煙による時系列のメリット】

禁煙開始直後 ～ 1 時間後	タバコを吸い終えた瞬間から、体は喫煙による変化を元に戻そうと動き始めます。
禁煙を始めて 20 分後	ニコチンによって収縮していた血管が元に戻り、 <b>血圧・脈拍が正常化し、体温も元に戻ります</b>
禁煙を始めて 8 時間後	タバコによって増加していた一酸化炭素が減り、酸素濃度が高まることで、 <b>息をするのが楽になります。</b>
禁煙を始めて 1 日後	タバコによって増加していた一酸化炭素が正常に戻ります。肺の浄化作用も始まり、 <b>血圧が正常化することで心臓発作の危険性も低下します。</b>

掲載期間：2025 年 5 月 19 日～2025 年 6 月 6 日

2025年5月27日

輸送課員 各位

業務・物流部 新妻 利昭



## 北勢運送㈱施設内でのフォークリフトシートベルト着用

表題の件、北勢運送㈱様より安全活動の一環として、下記の協力依頼を受けましたので、周知徹底をお願いします。

該社安全委員会で「フォークリフト乗車時もシートベルトを装着する」ことが承認され実施する事になり、当社への協力依頼を受けました。

当社としてこの依頼に従い、該社施設内でのフォークリフト乗車の際は、シートベルトを装着することとしますので、協力願います。

### ＜記＞

- (1) 北勢運送㈱施設内での「フォークリフト乗車時のシートベルト装着」
- (2) 即日運用…2025年5月27日（火）
- (3) 場所…北勢運送㈱様管理の施設内

以上



## NTN 三重 場外東側（裏）荷物積み降ろし場のトラック駐停車場変更の件

表題の件、2025年4月に㈱NTN 三重製作所様（以下 NTN）の従業員が場外東側にある「安全道場」から場内への移動で歩道を通行中に、横断歩道前に停車していたトラックの横から荷積み運搬中のフォークリフトと接触しそうになり『ヒヤリハットトラブル』を体験されたとの報告がありました。…図示①

本報告を受けて、NTN から下記の指示がありましたので、これに従うと共に、トラック及びフォークリフト作業での安全運転行動をお願いします。

【NTN 三重 場外東側荷物積み降ろし場】

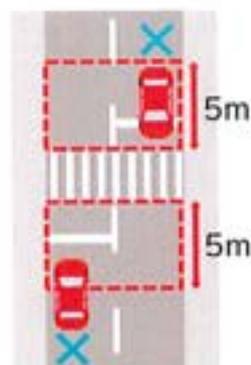
【ヒヤリハット！ 図示①】



### 1. トラック駐停車上の変更

これまで車道で駐停車していましたが、横断歩道とその端から5m以内の場所での駐停車を禁止します。（道路交通法第44条）該当場所は公道ではありませんが、これを適用すると共に更なる安全確保のため、車道上での駐停車を禁止し、新たにクーラント室前に駐停車して、荷卸し作業してください。…図示②

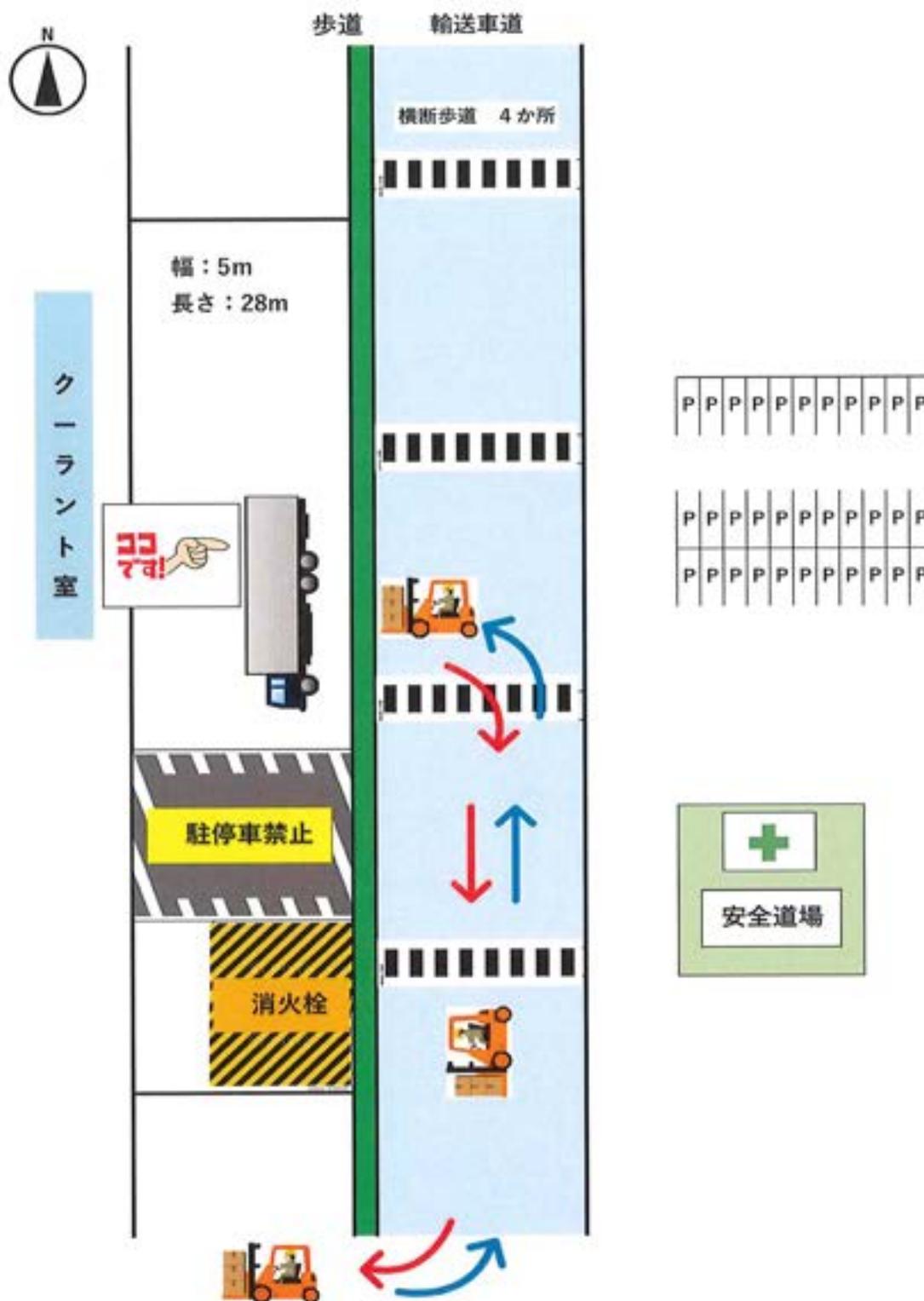
横断歩道(自転車横断帯を含む)と、その端から5メートル以内の場所



### 2. フォークリフト運転

これまで通り、場内走行速度上限 10 km/h を遵守してください。  
横断歩道手前では、歩行者の有無確認および徐行をお願いします。

【新駐停車場 図示②】



2025年5月度 安全パトロール実施結果

①日時:2025年5月7日(火)

時間:午後1:30~2:30

立会責任者:福田課長

実施者:西村

No	ハザード (危険源)	危険・有害状態の洗い出し	リスクアセスメント(上段:対策前/下段:対策後)					リスクコントロール		
			リスクの見積り		リスクポイント	リスクレベル	該当箇所	発生頻度	対応策	
1	<リフト課出荷場> 事務所周辺 ロッカー棚上 ワゴン中	ロッカー棚は「棚上物置禁止」にも拘らず、不要と思われるモノが置かれている。(ワゴンも同様) 要不要の判断がされないモノが、どんどん増えていくと、転倒落下等のケガ事故になり得る。	2	2	4	8	II	無	1	ロッカー棚上の不要物の撤去、「棚上物置禁止」の掲示、周知徹底した。
			2	1	1	4	I	-	-	
			責任者		納期		対策完了日		<b>完</b>	
			福田課長		5月28日		5月21日			
対策後写真							確認者コメント			
							対策内容を現認した。 5/21 西村			

チェック項目	ここがポイント	配点	記事
1 一旦停止1	停まれ位置で、3秒間 一旦停止しているか？	10	一旦停止しているのを確認した。
2 一旦停止2	一旦停止後 始動時に、左右確認を指差呼称しているか？	10	左右確認しているのを確認した。
3 ながら禁止	リフト爪の上昇・下降とリフト走行の前進・後進の「同時(ながら)」作業をしていないか？	10	ながら作業をしていないのを確認した。
4 後進後方確認	リフト後進時に、指差呼称で後方確認しているか？	5	首を曲げて後方視認するのが不完全である。側面は見えても、後方は本当に見えているのか？
5 爪高さ確保	リフトの爪高さを地上から10~15cm程上げているか？	5	リーチ作業中、爪を2m以上上げたまま停止して、他従業員と会話をしていた。(注意済み)
6 バックレスト後傾	リフトのバックレストを後傾しているか？(約6°)	10	後傾確認した。
7 爪飛び出し	リフト爪先がパレット・カゴ等から飛び出していないか？	10	飛び出しなしを確認した。
8 カウンター優先	カウンターとリーチが同時作業する際、カウンター優先が徹底されているか？	10	長爪カウンターが優先されているのを確認した。
9 作業安全確保	リフトに作業者が接近していないか？	10	接近等危険なきことを確認した。
10 急の付く作業禁止	急旋回・急停止・急発進していないか？	10	3急なしを確認した。
合計		90	

#5 リフト作業で爪上昇したままで、声掛けや会話は危険であることから、厳重注意した。

# 各部門の月間安全取組

6月5日 安全衛生委員会

	5月				6月		
	前月の目標	取り組んだ内容	結果	安全会議	今月の目標	取り組む内容	安全会議
	目標の内容	実際に行ったこと	目標が達成できたのか、未達の場合は原因は何か？	実施日	具体的内容に絞って目標を決める。	目標にそった具体的内容とし、確認・安全・基本動作等の漠然とした言葉は使わない。	予定日
輸送	リフト作業時、基本動作を守る。	チルトを運転側に傾ける。 リフト爪と接地面との安全な間(高さ)を確保する。	目視不足により、リフト爪先での物損事故が発生した。	5/16	リフト作業中、爪先に注意する。	荷物に合った爪の差し込みと目視を確実にを行う。	6/20
リフト	リフトの近くを通る際は、接触事故にならないよう注意する。	歩行者は、自分の存在をリフト運転者に気づいてもらう。 リフト運転者は、周囲の確認を確実にを行う。	声掛けやアイコンタクトで、リフトマンとのお互いの存在確認を行った。	5/21	爪先での作業の際は、爪の出し過ぎに注意する。	爪に引いたラインで適正な位置を確認する。 死角で見えにくい場合は、リフトを降りて目視確認を行う。	6/18
青山	クレーン上昇不足による事故ゼロ	クレーン上昇時、指差呼称で確認する。(できれば声掛け呼称)	クレーン上昇時、指差(呼称)で確認は6~7割出来て、事故ゼロを達成した。	5/12	クレーン上昇時、指差(呼称)での確認、8~10割達成を目指す。	『クレーン上昇時、指差呼称で確認!』の唱和とお互いの声掛け。	6/6

## ヒヤリ・ハット体験状況 2025年 5月度

No	種類	発生日	場所・状況	所属	作業	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	交通事故 衝突接触ヒヤリ	—	一般道路 (片側二車線)	輸送	トラック	走行車線走行中に、追い越し車線より並走車が『スマホを見ながら』寄ってきて衝突接触しそうになり、ヒヤリとした。『ながら運転』は絶対禁止！
2	交通事故 巻き込みヒヤリ	—	一般道路 交差点	輸送	トラック	交差点を左折時に、歩行者・自転車・バイクの巻き込みヒヤリ。左折時には、減速・徐行、ミラー確認する。
3	交通事故 接触ヒヤリ	—	一般道路	輸送	トラック	トラック切り替えしのため、後右後方へ後退した時、右前方から左方向へ自転車がすり抜けていきヒヤリとした。焦らず、慌てず、ゆっくり運転し、周囲の安全を確認する。
4	交通事故 接触ヒヤリ	—	全般	輸送	トラック	トラック後退時、シートが膨らんで車の側方がミラーで見えずらく、接触しそうになりヒヤリとした。
5	接触ヒヤリ	—	全般 (北勢運送)	輸送	リフト	リフト後進中、後方をリーチが横切りヒヤリとした。前方後方左右の確認を忘れずに！
6	接触ヒヤリ	—	全般	輸送	リフト	見通しの悪い所や通路でのリフト運搬で、歩行者やリフトと接触しそうになりヒヤリとした。
7	転倒ヒヤリ	—	出荷場	リフト	梱包	ほどいたPPバンドが、足に絡まり転倒しそうになりヒヤリとした。
8	落下ヒヤリ	—	出荷場	リフト	リーチ	リーチでWIを掴みチルトを掛けた時、奥にあったパレットが持ち上がりヒヤリとした。
9	滑りヒヤリ	—	青山	青山	荷降ろし	トラック荷降ろし時、ビニールで足元が少し滑ってヒヤリとした。
10						

転倒ヒヤリ(1件)、接触ヒヤリ(4件)、衝突ヒヤリ(1件)

カウンター長爪優先！

リーチ待機！

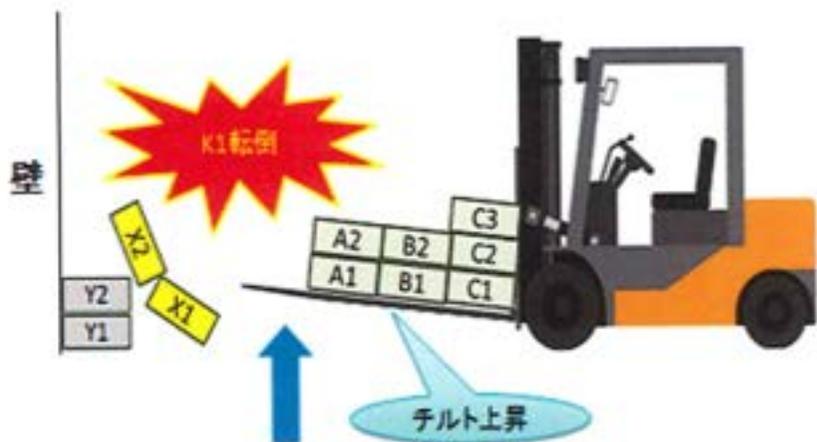
# 5

後方注意



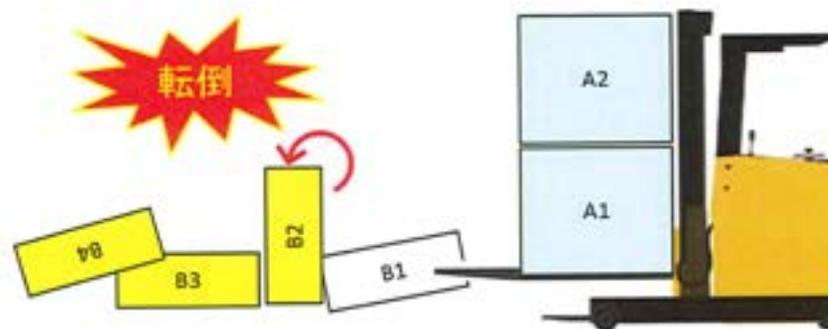
# 6

注意  
FORKLIFT  
注意



# 8

転倒



## 2025 年度(6月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延労働 時間数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率			
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		J(日)	不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害		全 災害		
					1日～ 3日	4日 以上	障害	休業 合計		1日～ 3日	4日～ 以上	合計	障害												G(日)	H(日)
					D(件)					E(件)																
A(人)	B(時)	C(件)	D(件)				E(件)	F(件)	G(日)				H(日)	C/A	E/A	F/A	C/B	E/B	F/B	J/B						
6 月 度	給油	1	57.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	輸送	16	2,022.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	リフト	20	2,381.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	派遣 NTN三重製作所	3	384.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	派遣 ウチダ	2	256.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	一般	8	809.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	段ボール	5	323.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	青山	2	256.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		
	計	57	6,489.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000		

薬箱確認 出荷場(5/23)・本社(5/23)・青山(5/23)

感染状況等	6月	2021年6月から累計
新型コロナ感染者	0	36
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合計	0	52

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
給油		R5.3.16	26	1,723.5
輸送	R7.1.17	R7.1.18	64	10,009.0
リフト	R7.4.21	R7.4.22	20	1,772.5
段ボール	R6.6.14	R6.6.15	42	3,855.0
青山		R5.3.16	55	8,473.5
		合計	207	25,833.5

会社全体	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
無事故時間	R7.3.10	R7.3.11	57	6,490
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,620	252,493

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが  
集計の関係上R5.3.16にしています。

※BG-R4-27(2023年2月20日発生)

重量物持ち上げによる腰痛(腰椎圧迫骨折)

## 《2025年5月 全社フォークリフト安全講習》

### 1. 日時、場所

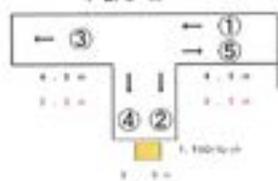
- (ア) 輸送課…2025年5月16日(金)17:30~18:00、本社倉庫前  
 (イ) 段ボールグループ…2025年5月19日(月)11:00~11:30、本社倉庫前  
 (ウ) リフト課…2025年5月21日(水)17:15~17:45、NTN 三重出荷場

### 2. 講師

ロジスネクスト中部圏 三岐支社 四日市北支店 課長代理 村山真吾様

### 3. 講習コース、写真

ロジスネクスト フォークリフト実技講習会 コース  
 1. 3t ~ 2.5t 1. 4.5m 2. 2.0m



1. 実技講習コース → 講習時間 カウンター車 7分 ・ リーチ車 6分間  
 採点割合 各1分間

- ①スタート地点・前進する → ②フォレット5枚の内装物を積みます →  
 ③荷を積んで、後進で、切替し地点に移動する →  
 ④フォレットを降ろし、前進し、荷を降ろします →  
 ⑤スタート地点に戻り、停止位置を取って終了します

2. 実技コースは、トン数1.5t車のサイズです  
 3. 採点は、100点満点、各操作2点減点 → 90点以上を目指します



### 4. 評価講評

#### [良い点]

- ・指差し呼称で、前後左右の確認は出来ている。

#### [悪い点]

- ・走行中にレバーに触っている。「ながら操作」による事故の危険性あり。  
 走行と荷役の作業は同時ではなく、分けて行うこと。
- ・爪の水平が少し甘い。高位置ではなく、低位置で水平を出しておくこと。
- ・チルトは上昇した状態では操作しない。



2025年5月23日

安全衛生委員会事務局 西村 

2025年度 第98回全国安全週間行事実施計画

“全国スローガン” 『多様な仲間と 築く安全 未来の職場』

＜実施行事＞

(1) 準備期間：2025年6月1日（日）～6月30日（月）

月/日	実施項目	時間	内容
6/2（月）	安全週間の啓蒙	8:00	・安全週間旗、安全旗の掲揚 ・安全週間ポスターの掲示
6/5（木）	安全衛生委員会開催	11:00～ 12:00	・安全週間実施要綱の説明 ・安全週間行事計画の開示
6/5（木）	社長・管理職による職場 巡回	14:30～ 15:00	・安全週間の啓蒙
6/6（金）	安全パトロール	13:30～ 14:00	・危険箇所・作業の抽出 ・5Sチェック

(2) 安全週間期間：2025年7月1日（火）～7月7日（月）

月/日	実施項目	時間	内容
7/1（火）	社長メッセージ伝達	8:00	・安全週間メッセージ発信 ・安全スローガン唱和（月初朝礼）
7/2（水）	保護具の点検	14:00～ 15:00	・ヘルメット顎ひも装着は適正か？ ・安全靴の擦り減りなし
7/3（木）	全社5Sの日	13:00～ 13:30	・5S実施 事務所・出荷場・倉庫・車両の清掃 不要物の廃棄 備品・書類・置場の明示
7/4（金）	安全パトロール	13:30～ 14:00	・危険箇所作業の抽出 ・5Sチェック
7/5（土）	従業員総会での安全講習 安全衛生委員会開催	1時間 15:00～	・動体視力トレーニング
7/6（日）	家庭で安全を考える日	適時	・交通災害防止、熱中症対策
7/7（月）	社長・管理職による職場 巡回	14:30～ 15:00	・服装の乱れ汚れなし、名札チェック ・健康状態

以上

## 《2025年6月法改正に伴う熱中症対応》

2025年6月4日(木)

ブルーカーゴ(株) 安全衛生事務局

熱中症の重篤化を防止するため、労働安全衛生規則が改正され、2025年6月1日から施行されます。

この改正により、以下の措置が義務付けられます。【対応1～3】

### 【対応1 体制整備】

- ・熱中症のおそれがある従業員がある場合、或いは 見つけた場合には、その旨を 上位者や関係者に報告する。

### 【対応2 手順の作成】

- ・熱中症のおそれがある者に対する 処置例の周知とフロー図の掲示
- ・発症時の 緊急連絡先周知と掲示…社内関係者、NTN 三重安全環境管理課・警備室、消防救急

### 【対応3 関係者への周知】

- ・本社、事務所での 掲示、安全会議での周知
- ・経口補水液の常備
- ・塩分タブレットの常備
- ・温度・湿度計の配置:NTN 三重請負職場、青山請負職場、本社倉庫

### <その他 法改正に伴う対応以外の注意点>

- ・NTN 三重様へ熱中症発症時のヘルスケア看護師の支援依頼
- ・同上、救急搬送要請の協力依頼
- ・気温 31℃以上を確認時、こまめな補水を推奨

以上

# 職場における熱中症対策の義務化について

熱中症の重篤化による死亡災害を防止するため、  
2025年6月1日より「職場における熱中症対策の強化」に関する法令が罰則付きで施行されます。

## 《基本的な考え方》



## 《職場における熱中症対策の義務化》

- ① 自覚症状のある人や、発見者が報告を行うための体制・・・労働災害発生時の連絡ルート
- ② 重篤化防止のための手順・・・熱中症発生時の対応（フロー図）
- ③ 従業員への周知・・・事業場安全衛生委員会、健康管理ニュース、応急手当講習（救護班対象）

「WBGT値28℃以上又は気温31℃以上の環境下で  
連続1時間以上又は一日4時間を超えて実施」が見込まれる作業が対象

令和7年6月1日に  
改正労働安全衛生規則が  
施行されます

# 職場における 熱中症対策の強化について

## 熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について

### 職場における 熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル。
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍。
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念。

ほとんどが  
「初期症状の放置・対応の遅れ」

### 早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン実施要綱」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

現場において

**死亡に至らせない  
(重篤化させない)ための  
適切な対策の実施が必要。**

### 基本的な考え方



### 現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。

**1** 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

**2** 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、  
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等  
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順(フロー図①②を参考例として)の作成及び関係作業員への周知

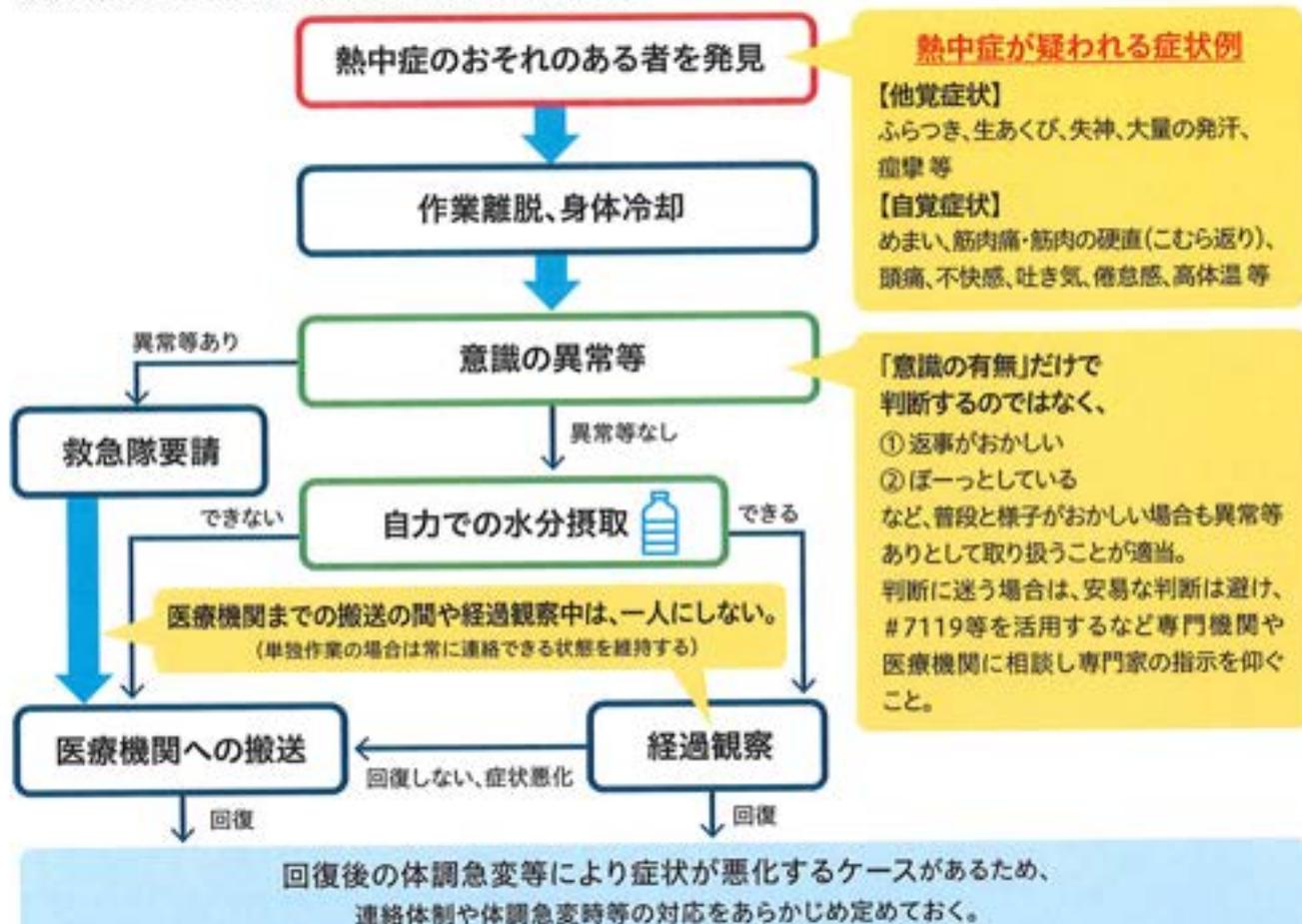
### 対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で  
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。  
※なお、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとする。

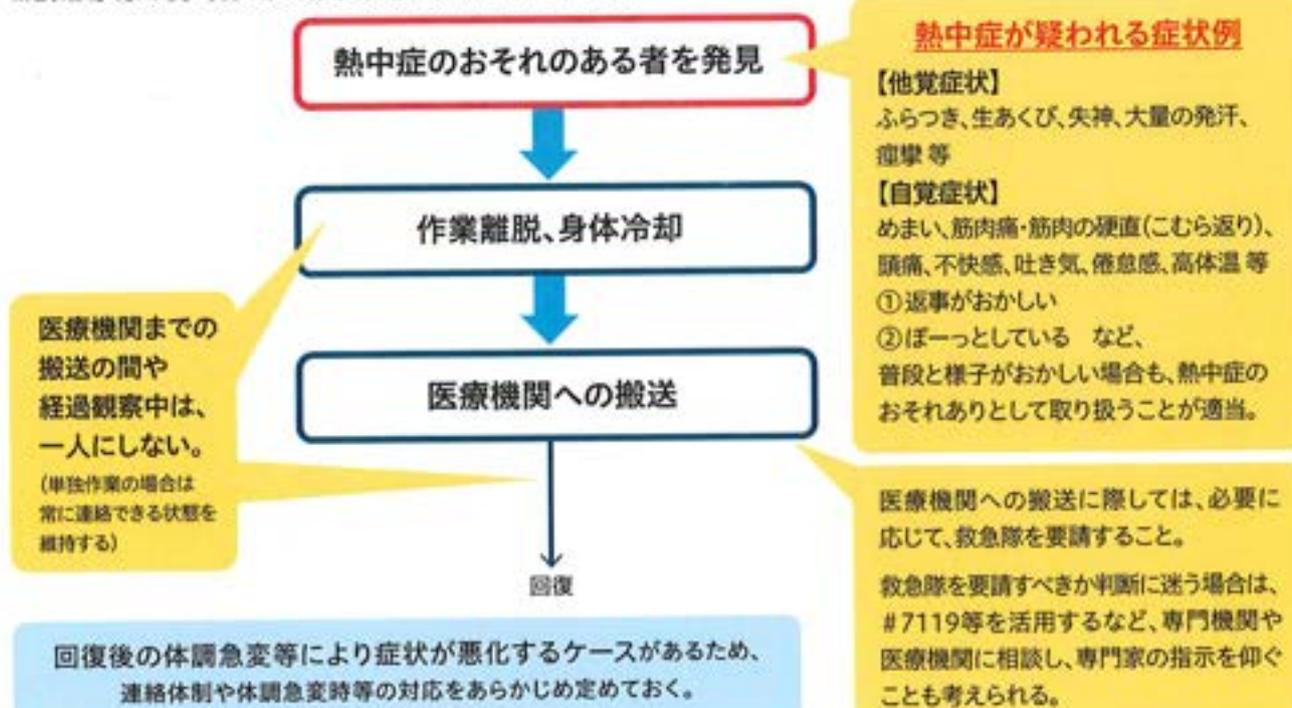
## 熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



## 熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ②

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



# 今回の労働安全衛生規則の改正について

## 基本的な考え方

見つける

(例) 作業員の様子がおかしい…



判断する

(例) 医療機関への搬送、救急隊要請



対処する

(例) 救急車が到着するまで  
作業着を脱がせ水をかけ全身を急速冷却



現場の実態に  
即した  
具体的な対応

## 現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者には義務付けられます。

1

「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、

- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係作業員への周知

※参考となるフロー図を2つ掲載していますが、これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応が推奨されます。

※同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとします。

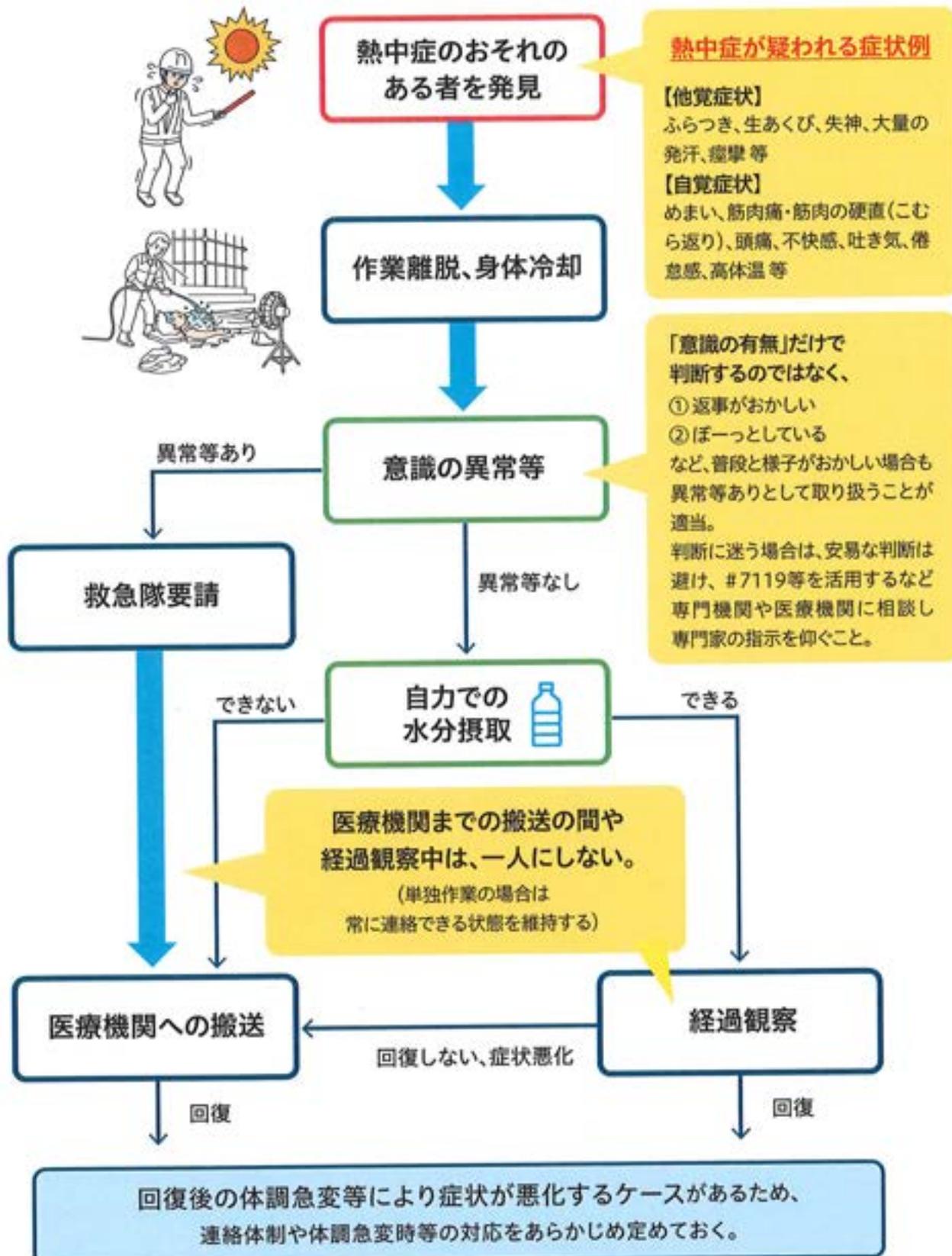
対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

# 熱中症のおそれのある者に対する処置の例

## フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



## “いつもと違う”と思ったら、**熱中症**を疑え

あれっ、  
何かおかしい

手足がつる

立ちくらみ・めまい

吐き気

汗のかき方がおかしい

汗が止まらない／汗がでない



これも  
初期症状

何となく  
体調が悪い

すぐに  
疲れる

あの人、  
ちょっとヘン

イライラしている

フラフラしている

呼びかけに反応しない

ボーッとしている

すぐに周囲の人や現場管理者に申し出る



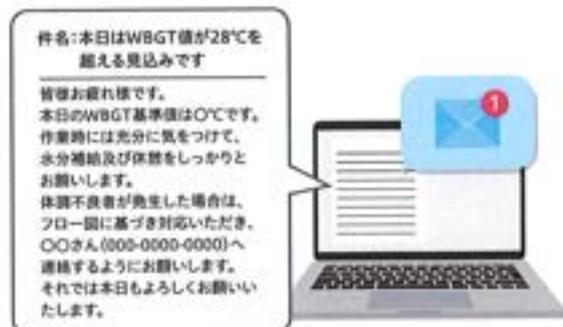
### 手順や連絡体制の周知の一例



【朝礼やミーティングでの周知】



【会議室や休憩所などわかりやすい場所への掲示】



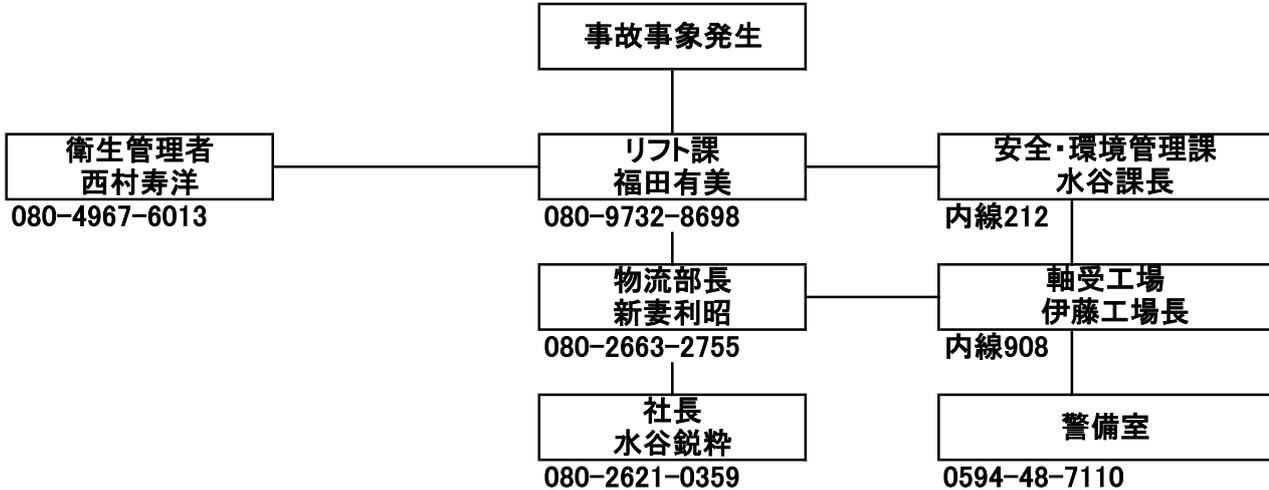
【メールやイントラネットでの通知】

# 《連絡先一覧表》

2025年6月1日  
管理部

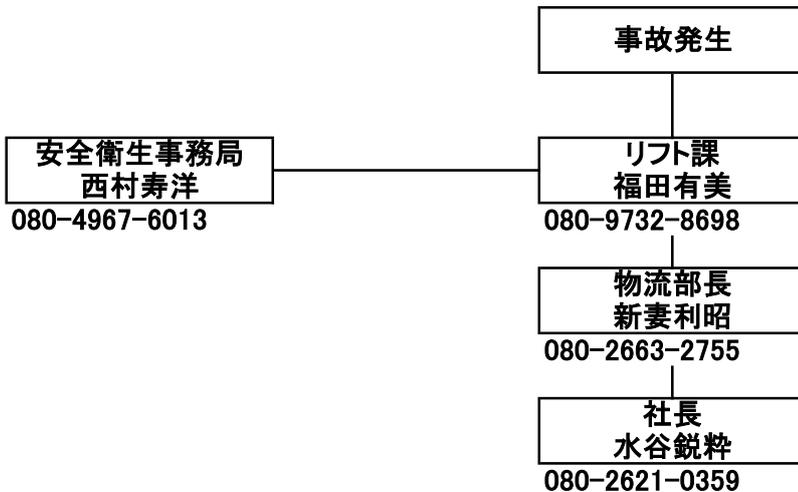
## 人身事故、熱中症の疑いあり および緊急の場合

被害者の救済援助を最優先



大桑クリニック	0594-48-5311
桑名市総合医療センター	0594-22-1211
青木記念病院	0594-22-1711
ヨナハ総合病院	0594-23-2415
海南病院	0567-65-2511
桑名市消防本部	119
桑名警察署	110

## 製品事故および物損事故の場合

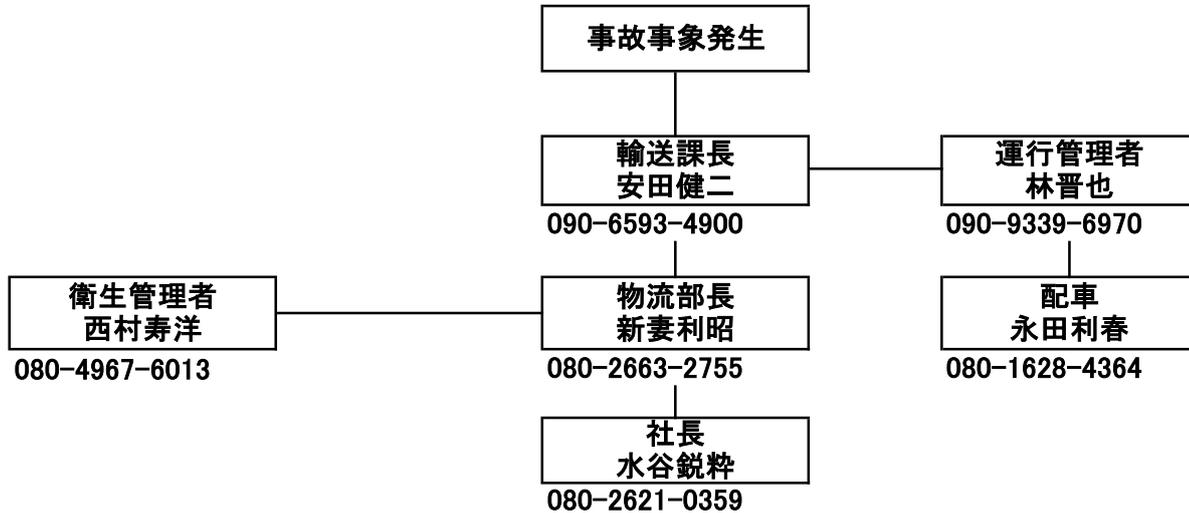


# 《連絡先一覧表》

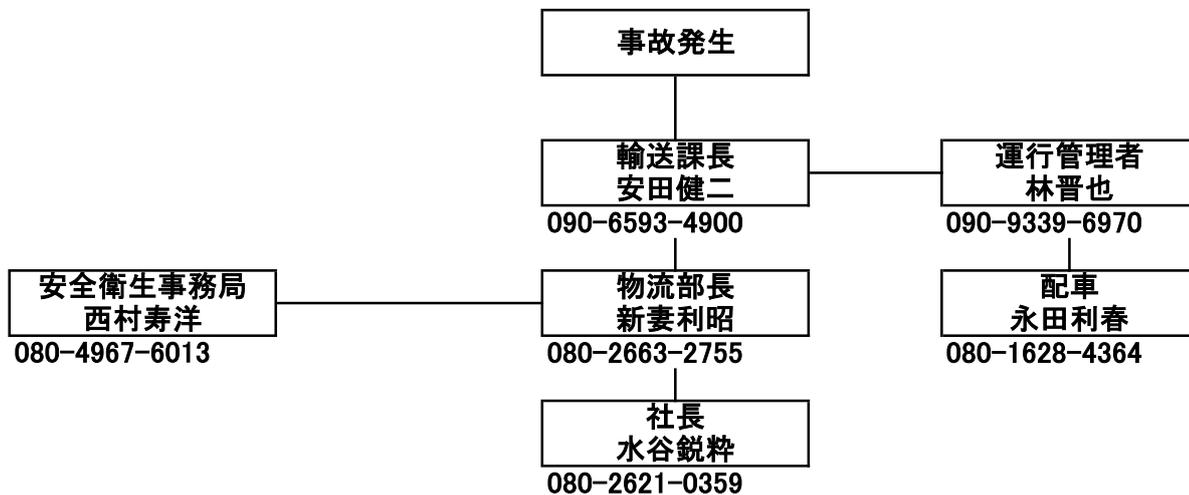
2025年6月1日  
管理部

## 人身事故、熱中症の疑いあり および緊急の場合

被害者の救済援助を最優先



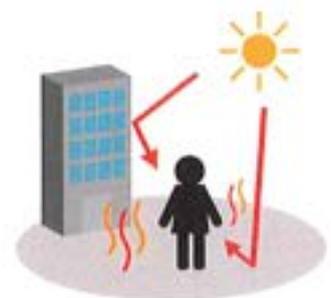
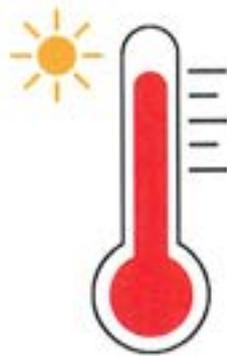
## 製品事故および物損事故の場合



# WBGT（湿球黒球温度、Wet Bulb Globe Temperature）

## ■ 乾球・湿球・黒球温度とは

乾球温度 (かんきゅうおんど)	通常の温度計が示す温度のことです。
湿球温度 (しっきゅうおんど)	蒸留水で湿球部を常時湿らせた状態で計測した温度です。
黒球温度 (こっきゅうおんど)	グローブ温度計を用いて測られる温度のことで、周囲からの熱放射による影響を観測するために用いられます。 グローブ温度計は薄い銅製であり、表面には黒体塗装が施されています。



暑さ指数 = 1 : 7 : 2  
WBGT 気温 湿度 日射・輻射

## WBGT値を活用して 熱中症を防ごう！

WBGT値 31℃以上  
**危険**  
作業は原則中止

WBGT値 25～28℃  
**警戒**  
積極的に休憩

WBGT値 28～31℃  
**厳重警戒**  
激しい作業は中止

WBGT値 25℃未満  
**注意**  
積極的に水分補給

## WBGT値早見表 熱中症の危険度をチェック!

早見表		相対湿度 %																
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
乾球温度 °C	40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
	38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
	37	27	28	29	29	30	31	32	33	35	35	35	36	37	38	39	40	41
	36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
	35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
	34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
	33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
	32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
	31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
	30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
	29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
	28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
	27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
	26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
	25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24	

【注】危険、厳重警戒等は、日常生活の上での基準であって、労働(運動)の場における熱中症の予防の基準には当てはまりません。

### 【WBGT値】

注意 25℃未満	警戒 25℃～28℃	厳重警戒 28℃～31℃	危険 31℃以上
----------	------------	--------------	----------

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1 2008.4